

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

埼玉県

（地域における現状・課題）

- ・埼玉県でも地域によって差はあるが、少子化が進行し、部員数減少により単独でチームを組むことが出来ず、合同チームによる大会への参加が増えている。
- ・生徒がやりたい競技の部活動が在籍している中学校に設置されておらず、生徒の多様なニーズに応えられていないケースも見られる。
- ・各市町村の部活動の地域連携や地域スポーツクラブ活動への移行にむけた理解度や進捗状況にやや差がある。

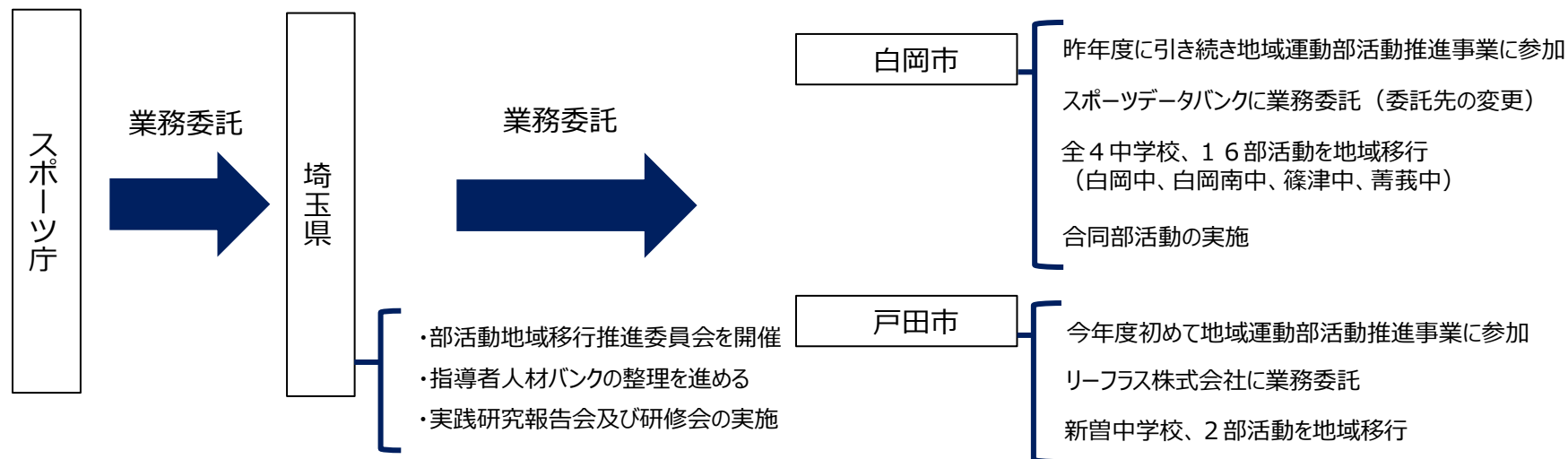
（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

- ・庁内関係課と連携を図り「埼玉県部活動地域移行推進委員会」を立ち上げ、3回の推進委員会を行った。その他にもワーキンググループによる研修会を実施し、事業の理解を深めた。
- ・有識者や市町村教育委員会教育長、外部関係団体の意見を聞きながら、部活動地域移行に係る埼玉県版指針を作成中。
- ・市町村教育委員会に対し2回のアンケートを実施、現状を把握した。
- ・市町村教育委員会対象の研修会を開催し、他県の好事例の紹介や国の動向等の情報提供を行うとともに、実践研究参加校による報告会を開催し、情報の共有を図った。
- ・県民への周知啓発のため、ホームページの立ち上げや、リーフレットの作成を検討している。

（実践研究の成果）

- ・委託先である2市ともに民間業者に業務委託を行い、生徒や保護者へ丁寧に説明会を開催し、移行を進めたため、生徒、保護者、学校ともに大きな混乱なくスムーズに地域移行を進め、活動を行うことができた。特に実践研究2年目の白岡市においては合同部活動（ダンス）も行い、先進的に取り組むことができた。
- ・知事部局を含む関係各課と連携を図るため「埼玉県部活動地域移行推進会」を立ち上げ、諸課題に対して共に検討を図り、情報を共有することができた。
- ・県立中学校の地域移行を進めるため、生徒、保護者、教員に対してアンケートを行い実態を把握することができた。

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

白岡市

（地域における現状・課題）

本市では、誰もが部活動の教育的効果は認めつつも生徒数の減少やニーズの多様化による活動のミスマッチや教職員に係る負担の増加が学校運営上の課題となっている。また、地域からは生徒が活躍する場の提供や専門的なサポートを望む声も多く、行政・学校・地域が一体となった整備が急務となっている。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：スポーツデータバンク株式会社

活動場所：篠津中学校、菁莪中学校、南中学校、白岡中学校

生涯学習センターこもればの森、白岡勤労者体育センター

指導者：元bjリーグ選手、元教員、総合型地域スポーツクラブ等

移動手段：徒歩、保護者による送迎、自転車（自校以外での活動の場合）

責任主体：白岡市教育委員会

活動種目：男子バスケットボール、女子バスケットボール、男子ソフトテニス、女子ソフトテニス、女子卓球、卓球、ソフトボール、陸上、剣道、ダンス

会費等：徴収なし

保険：800円（スポーツ安全保険）

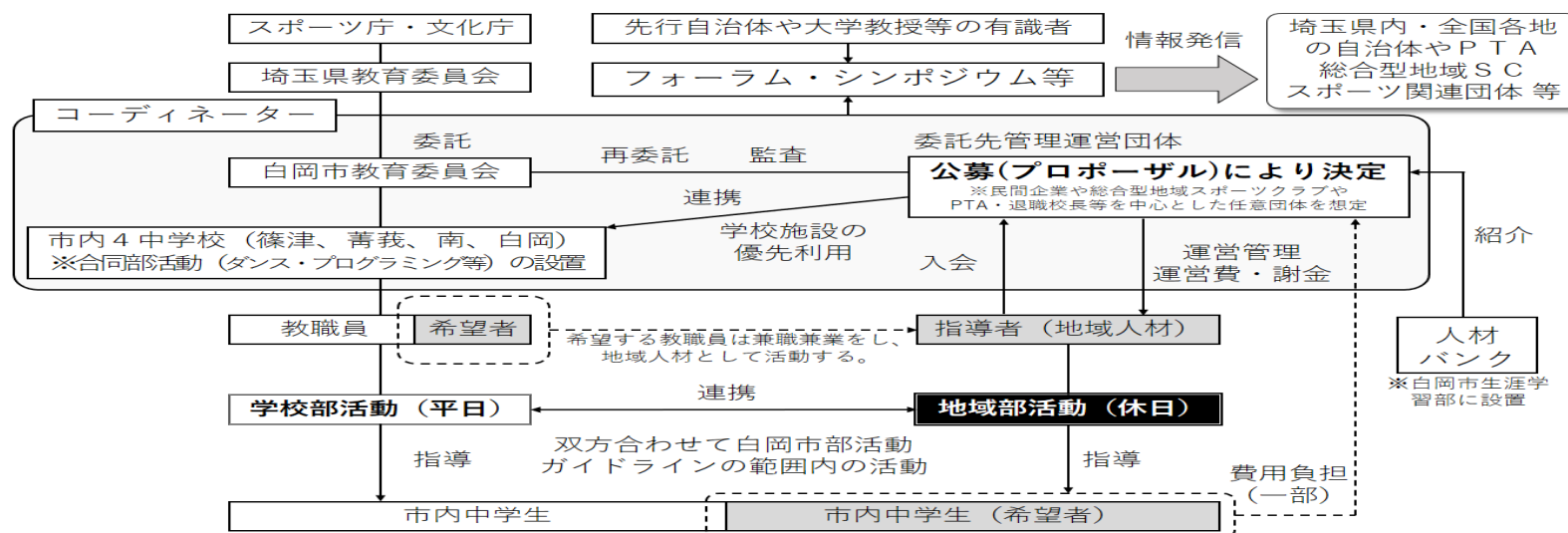
（実践研究の成果）

土日の地域クラブ活動を通して、練習方法や技能を生徒が身に付けることができた。得た知識や技能は、通常の部活動の練習に生かすことで、教員の指導負担を減らすことができた。

学校全体としても、これまでは土・日の部活動が当たり前となっていたが、土・日に教員が学校にほとんどおらず、家庭等の学校以外で過ごすことが当たり前になりつつある。

一方、生徒にとっては、専門的な知識を得ることができ、技能の向上につながっている。生徒や保護者から「ぜひ次年度も、地域クラブ活動を進めてもらいたい」との声もあがっている。

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

戸田市

（地域における現状・課題）

- ・ 実施拠点校において現在運動部は9競技13部活動が活動
- ・ 競技経験や指導経験が乏しい教員が顧問となっている部活動もある
- ・ ボランティアによる外部指導者が4名、民間に委託し派遣された指導者が3名
- ・ 休日の指導について教員の献身的な取組によって支えられている状況で持続可能性が低い

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：リーフラス株式会社

活動場所：戸田市立新曽中学校（校庭・剣道場）、戸田市立スポーツセンター

指導者：リーフラス株式会社に登録した地域指導者（臨時の場合は社員）

移動手段：徒歩

責任主体：リーフラス株式会社

活動種目：陸上競技、剣道

会費等：0円

保険：総額263,650円（障害保険）

（実践研究の成果）

- 移行した休日部活動の実施回数：陸上部16回/年、剣道部11回/年
- 専門性の高い指導を受けることによる、技能及び意欲の向上
- 指導者の確保及び研修等による育成・管理
- 生徒、保護者、地域住民の理解促進
- 教師の業務負担の軽減によるワークライフバランスの充実

（運営体制図）

